

# わが社の

# 企業価値

## セイコーマート

セイコーマート(本社・北海道

札幌市)は、1971年に第1号店を開店。その後、北海道を基盤として継続的に成長を続けるコンビニエンスストアチェーンである。現在、北海道・茨城・埼玉に1097店(2011年5月末現在)を展開している。道内コンビニエンスストアで店舗数最多を誇るだけではなく、道内179市

## 広い視野持つ社員を育成

り続けるという信念を変えていない。

町村中、169市町村に出店していることは、店舗展開においても特徴的な点である。コンビニエンスストアとしては唯一、離島(利尻島・礼文島・奥尻島)にも出店しているチェーンである。

セイコーマートは、「企業人材力」という考えのもと、社員教育に大きな力を注いでいる。社員が担う業務は、一般的に営業職と呼ばれる店舗指導担当のスーパーバイザー、店舗の接客指導を行うトレーナー、商品企画担当者やバイヤー、輸入業務担

当者、パッケージデザイナーをはじめとした各種のデザイナーを招き、イン担当者、品質管理部門、法務担当部門など多岐にわたる。専門的な分野をアウトソーシングするのではなく自らがその機能を持つことで差別化を目指す。

このため、セイコーマートの社員には、高い専門性が求められる。これは採用段階から特徴的に表れており、理系・文系語学の堪能者などバラエティーに富む人材を求める。入社後は、積極的な教育投資により、様々なカリキュラムにて教育を行う。

人の英語講師を招き、毎週1回実施している。TOEICの受験も会社として実施するなど、語学力を強化している。これは、地域に密着したローカルな企業でありながら、グローバルな視点を持つという理念に基づく。



セイコーマートの店舗

主な教育内容としては、新入社員研修後も段階的に行う集団研修、毎年全社員が受講する通信教育、社外セミナーへの積極的な参加などである。その他、業務内容や能力により社歴が若い社員でも、積極的に海外研修に派遣し、海外の小売業の現状を自身の目で確かめ、最新の流通業界について学ぶ機会を与える。

また、昨年から実施している英語セミナーは、業務で英語を中心に使う社員に限らず、全社員に受講する権利がある。外国

一方、顧客にとっての必要な商品サービスは時代の変化で多様化する。このため、中長期的に先を読み、柔軟に変化に備えて対応してきたこともセイコーマートが成長を続けてきた一つの要素である。今後も、柔軟で広い視野を持つ社員の育成に努めていきたいと考えている。

▽本社 札幌市中央区南9条西5丁目421番地▽代表者 丸谷智保・代表取締役社長▽設立 1974年▽URL <http://www.seicomart.co.jp>